

ほんがいっぱい よんでみよう！



3・4年生のための本

①『メリーメリーのびっくりプレゼント』

ジョーン・G. ロビンソン／作・絵 小宮由／訳 岩波書店《F口》

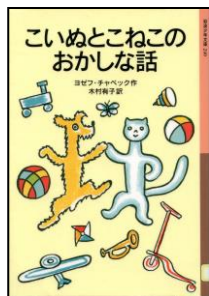
メリーメリーは5人きょうだいのすえっこのです。おにいちゃんたちは、母の日のプレゼントにお花を買います。でもメリーメリーは、球根を買うお金がありません。そこで、うえ木ばちのあなをトチの実でふさいで土をいれ、球根をかいにいこうとしましたが、なんと、お金をなくしてしまったのです！



②『こいぬとこねこのおかしな話』

ヨゼフ・チャペック／作 木村有子／訳 岩波書店《Fチ》

こいぬとこねこは、よごれた家のゆかをきれいにしようと思いましたが、でも、ゆかをこするブラシも、ぬれたゆかをふくタオルもありません。そこで、こいぬがブラシに、こねこがタオルになることにしました。



ところざわ しりつところざわ と しょかん
所 沢市立 所 沢図書館 2018年

③『アルバートさんと赤ちゃんアザラシ』

ジュディス・カー／作・絵 三原泉／訳 徳間書店《Fケ》

アルバートさんは、いとこのところへ遊びに行き、赤ちゃんアザラシと出会いました。ところがある朝、赤ちゃんアザラシの元気がありません。その理由を知ったアルバートさんは、赤ちゃんアザラシを車でつれて帰ることにしたのです！



④『月からきたトウヤヤー』

蕭甘牛／作 君島久子／訳 岩波書店《Fシ》

とうもろこしのたねから生まれたトウヤヤーは、わらじ作りのおばあさんに育てられました。ある日 トウヤヤーは、金の鳥がなくなると、おもしろい病気の人でも元気になるという話を聞いて、目が見えなくなりました。おばあさんのために、金の鳥を探しに行くことにしました。



⑤『いたずらっ子がやってきた』

カトリーナ・ナネスタッド／作 こぺんなな／絵 渋谷弘子／訳 さ・えら書房《Fナ》

インゲは、元気な女の子。ひとりで長い旅をして、おばあちゃんの住む島にやってきた。でも、初めて会うおばあちゃんは、こわくてきびしそう。ある日、家畜小屋で、ロバのリーヒとバケツをける競争をしていたら、かごいっぱいのおもちゃを持っておばあちゃんが入ってきて、大変なことに！



⑥『イードのおくりもの』

ファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ^{ぶん} 文 プロイティ・ロイ^え 絵 まえだきみえ やく 前田君江^{やく} 訳
みつむらきょういくとしよ 光村教育図書 《Eロ》

あしたはラマダンのおわりをいろうおまつり、イード。くつやのイスマトはかぞくへのおくりものと、じぶんのためにあたらしいズボンをかいました。でも、ズボンのたけがちょっとだけ、ながそう。みじかくするために、いろいろなひとにたのみにいきますが…。



⑦『ちいさいおうち』

ばーじにあ・リー・ばーとん^{ぶん} ぶんとえ いいももこ^{やく} やく 岩波書店 《Eノ》

むかし、しずかないなかに、ちいさいおうちがありました。りんごの木やはたけにかこまれて、しあわせでした。ところが、でんしゃがとおり、おおきなビルがたって、ちいさいおうちにはおひさまもほとんどみえなくなりました。



⑧『はじめて見たよ！セミのなぞ』

しんかいたかし しゃしん ぶん 少年写真新聞社 《48》
新聞孝^{ぶん} 写真・文

まちなか じんじゃ こうえん おお
町中の神社や公園にアブラゼミが多いのはどうして？木に産みつけられた卵から生まれた幼虫はどうやって土の中にもぐるの？セミの天敵ってどんな生き物？身近なものになぞがたっぷりのセミ。セミについて調べてみよう！



『グリムのむかしばなし』 I・II

グリム^{ちよ} 著 ワンダ・ガアグ^{へん} 編 え まつおかきょうこ やく 松岡享子^{やく} 訳 のら書店 《M》

ある日のこと、王女が大事にしている金のまりが泉に落ちてしまいました。王女が悲しんでいると、1ぴきのかえるが、泉の底からまりをとってきてくれると言いました。そのかわりに、自分を遊び友だちにしてくれというのです。（「かえるの王子」）



⑩『ちびっこカムのぼうけん』

かんざわとしこ かく やまださぶろう^え 絵
神沢利子^え 作 山田三郎^え 絵
理論社 《AFカ》

カムは北国に住む元気な男の子。あるとき、病気のお母さんのために、火の山へイノチノクサをとりに行く。しかし、そこにはおそろしい大男ガムリイが住んでいて…。

⑫『きゅうきゅうばこ』

やまたまこと^{ぶん} ぶん やぎゅうげん ちろう^え 絵
福音館書店 《49》

けがをしたらこの本をひらいてみてね。すりきずの手当から、しゃっくりの止め方まで、役に立つことがいっぱい。さあ、これでおもいっきりあそべるぞ！

⑭『ことばあそびうた』

たにかわしゅんたろう し せがわやすお^え 絵
谷川俊太郎^え 詩 瀬川康男^え 絵
福音館書店 《チャ》

はなのののはな
はなのななあに…
さあ、声に出してよんでみよう！
きみはすらすらよめるかな？

⑪『おともださにナリマ小』

たかどのほうこ^え 作 にしむらあつこ^え 絵
フレーベル館 《Fタ》

ある日、ハルオの学校に、「おともださにナリマ小」とかかれた、なぞのてがみがとどいて、おおさわぎに！でも、ハルオには、そのてがみの字にみおぼえがあったんだ。

⑬『こいぬがうまれるよ』

ジョアナ・コル^{ぶん} 文 ジェローム・ウェクスター^{しゃしん} 写真
つばい^{やく} いくみ^{やく} 訳 福音館書店 《64》

こいぬがうまれるところ、みたことある？ おとなりのいぬにあかちゃんがうまれるの。うまれたばかりのこいぬは目が見えないし、耳も聞こえないんだって。

⑮『ふしぎなたいこ』

いしいももこ ぶん しみずこん 絵
石井桃子^え ぶん 清水崑^え 絵
岩波書店 《M》

げんごろうさんは、鼻を高くしたり低くしたりできるたいこをもっていました。鼻がどこまでのびるか、ためしてみたくなり…。